

## 合格体験記（AO方式入学者選抜）

第Ⅰ項 生活科学部 食物栄養科学科 食物科学 専攻

出身高校名 不二聖心女子学院高等学校

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は将来、食品会社の開発部門で働きたいと考えているため、大学では、食物科学を専攻したいと思、たことが第一の理由です。また、中学生の頃にワインを研究したことがきっかけで発酵に興味を持ちました。そこで、「食品と有用微生物とのかかわり」を研究テーマとする教授が同志社女子大学にはいらっしゃるを知り、その教授から学びたいと思い志望しました。

- (2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

ホームページの受験生のページを見て、AOの出願資格があることを知り、受けました。自分のこれまでの活動を生かすことができるという点や、書類を通して、自分の考えを伝え、それによって審査されるという点も理由の1つです。また、人前で話すことが得意なので、面接でそれを発揮できるのではないかと考えたからです。

- (3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

中学・高校の6年間、キリスト教の学校で学んできたこと、  
6年間、生徒会の役割を担う委員会に在籍し、高校2年生で副委員長、高校3年生で委員長をしてきたこと。  
委員会活動を通し、様々な宗教行事の準備や片付け、ミサの司会や共同祈願を担当したこと。

- (4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

自分がこれまでにどのようなことを経験し、何を考えたのかを誰が見ても伝わるよう、何度も訂正をくり返し、作成しました。  
課題レポートは、テーマを中心にしたブレインストーミングを行い、それを見ながら書くことで、1つのことに対してより深い内容になるよう心がけました。

〔面接〕

書類に書いたことはすべて暗記しました。教育理念や学科の教育目標や求める学生像を何度も何度も読みました。学校で先生方と練習したり、想定問答を作成しました。暗記したことをそのまま話すのではなく、その場で考えて答えるように心がけました。自分に自信を持ち、堂々とし、ハッキリとした口調で答えるようにしました。

- (5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

AO入試では「私はどうしてもこの大学で学びたい」という思いを伝えることが大切です。書類や面接でその思いをしっかりと伝えることができれば、良い結果が得られると思います。一般入試に向けての勉強もしなければならぬので、書類は早めに取りかかたほうがいいと思います。応援しています。